

建築技術性能証明書

技術名称：CFT-SS補強工法
ー圧縮抵抗型CFTブレース補強工法ー

申込者：CFT-SS補強工法開発推進研究会 会長 中原 浩之
東京都中央区日本橋箱崎町 4-3 国際箱崎ビル (株三誠内)

技術概要：本技術は、軸圧縮剛性と耐力が高いコンクリート充填鋼管を圧縮のみに抵抗させる斜材（以下、CFTブレースと称する）として使用する耐震補強工法である。CFTブレースの鋼管内部と接合部（CFTブレースと既存躯体の間）に高流動コンクリートを同時打設し、CFTブレースと既存躯体を一体化させる。これによりグラウト工事、型枠工事、施工時重量の軽減などの効果が得られる。CFTブレースに発生する圧縮力は、主に支圧によって既存躯体に伝達させる。上部接合部および下部接合部に設けるエンドプレートは鋼管が負担する圧縮力を分散させることで接合部コンクリートの支圧破壊を防ぐものである。また、上部接合部の異形鉄筋はCFTブレースと接合部コンクリートを付着力により連結させ、下部接合部の丸鋼はCFTブレースに引張力が作用した時にCFTブレースと接合部を離間させ、かつ位置を保持するためのニードルベアリングとして機能する。

開発趣旨：本技術は、CFTブレースに圧縮力が作用していれば、これと既存骨組は圧着した状態になるので、スタッドやあと施工アンカーが不要となり、結果的に鉄骨枠が不要となる。つまり、CFTブレースに圧縮力のみが作用するようになれば、コストと工期の削減が期待できる。また、既存架構のはつり、孔開け工事の低減により施工環境の改善が期待できる。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

平成 26 年 9 月 29 日 一般財団法人 日本建築総合試験所
理事長 辻 文 三



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料より性能証明を行った。

資料 1：CFT-SS補強工法 性能証明のための説明資料

資料 2：CFT-SS補強工法 設計・施工指針

資料 1 には、本工法の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料 2 は、本工法の設計・施工指針であり、適用範囲、使用材料、設計方法の他、施工方法が示されている。

また、付属資料として、投稿論文が添付されている。

証明内容：申込者が提案する「CFT-SS補強工法 設計・施工指針」に従って設計・施工されたCFTブレースと既存骨組からなる耐震補強架構は、同指針で規定している終局耐力および変形性能（耐震診断において用いる靱性指標F値）を有する。